

生活交通確保維持改善事業計画（利用環境改善促進等事業）

平成 27 年 5 月 22 日
（名称）鎌倉市バス活性化システム事業協議会
京浜急行バス株式会社

1. 生活交通確保維持改善事業計画の名称
平成 27 年度鎌倉市生活交通確保維持改善事業計画（バスロケーションシステム導入事業）
2. 利用環境改善促進等事業の目的・必要性
モータリゼーションの進展にともなう自動車の増加は、自動車事故、交通渋滞、環境悪化等を引き起こしており、また、交通渋滞は、バスの定時性、円滑性を失わせ、大量輸送が可能な市民の足としての信頼を低下させる原因となっている。 バスロケーションシステムを整備し、バス停留所やインターネット上で、バスの接近情報等を利用者に提供することで、利用者の利便性を向上させるとともに、バスの利用を一層促進することを目的とする。
3. 利用環境改善促進等事業の目標及び効果
（1）事業の目標
鎌倉市内の主なバス路線にバスロケーションシステムを整備し、パソコン、携帯電話、スマートフォンの各種端末でバス位置情報を提供する。また、停留所表示機を整備し、接近情報を提供する。
（2）事業の効果
バスの運行状況を提供し、利便性および信頼性の向上を図ることにより、公共交通の利用増加や環境負荷の軽減に寄与する。
4. 利用環境改善促進等事業の内容と当該事業を実施する事業者
（1）事業の内容：実施事業者（補助対象事業者）
（内容）バスロケーションシステムの導入 京浜急行バス（株） 鎌倉営業所 ・ 車載器 57 台 ・ 停留所表示機 12 台
（2）関連事項
（事業実施地域） 神奈川県鎌倉市

5. 利用環境改善促進等事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

平成 27 年度（当該年度）					
事業の名称	総事業費 割合	国費 割合	県負担 割合	市区町村負担 割合	事業者負担 割合
バスロケーションシステム 導入事業	62,000 千円	20,666 千円	0 千円	0 千円	41,334 千円
	100%	33.3%	0%	0%	66.7%

※総事業費については見込み額を記載。
 ※列記の者以外に費用負担者がいる場合は、適宜修正の上、全体構成が分かるように記載。

6. 計画期間

以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印（←→）、または横棒線（——）で記載。
 ●で年度ごとの事業着手日、事業完了日を記載

事業の名称	平成 27 年度				平成 28 年度				平成 29 年度			
	4 月	9 月	12 月	3 月	4 月	9 月	12 月	3 月	4 月	9 月	12 月	3 月
バスロケーションシステム導入事業	7 月 1 日着手 ●				●				●			
	3 月 31 日完了				調査・検討等							

7. 協議会の開催状況と主な議論

平成 27 年 4 月 22 日：協議会設立、事業内容について協議
 平成 27 年 5 月 22 日：意見把握結果を踏まえ、本計画について合意

8. 利用者等の意見の反映

平成 27 年 4 月 30 日～5 月 13 日：京浜急行バス(株)ホームページにて本計画に関する意見を募集

9. 協議会メンバーの構成員

関係市区町村	鎌倉市まちづくり景観部交通計画課
交通事業者・交通施設管理者等	京浜急行バス(株)運輸部整備課
地方運輸局	神奈川運輸支局

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 東京都港区高輪 2 丁目 20 番 20 号
 (所 属) 京浜急行バス(株)運輸部整備課
 (氏 名) 山下
 (電 話) 03-3280-9172
 (e-mail) k.yamashita-kkb@keikyu-bus.co.jp